

「肩関節 MRI で得られた画像データの二次解析による筋肉 注射至適部位の検討」に対するご協力のお願い

研究責任者 山田 祥岳
研究機関名 慶應義塾大学医学部
(所属) 放射線診断科学教室

このたび当院では上記の医学系研究を、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

今回の研究では、同意取得が困難な対象となる患者さんへ向けて、情報を公開しております。なおこの研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

2021 年 7 月 1 日から 2026 年 6 月 30 日までの期間で、当院で肩関節 MRI 撮影を行う（行った）方のなかで、必要とされる年齢・性別・体格などに合致した方が対象となります。

2 研究課題名

承認番号 20231162

研究課題名 肩関節 MRI で得られた画像データの二次解析による筋肉注射至適部位の検討

3 研究組織

<u>研究機関</u>	<u>研究責任者</u>
慶應義塾大学病院放射線診断科	准教授 山田 祥岳

<u>共同研究機関</u>	<u>研究責任者</u>
なし	

<u>研究協力機関</u>	<u>機関の長</u>
なし	

4 本研究の目的、方法

現在、筋肉注射は肩の三角筋の中へ刺入して薬液を投与することが一般的ですが、従来から推奨されている位置（肩峰から 2－3 横指下）は、深部に比較的太い血管（後上腕回旋動静脈）が走行している可能性があります。このため現在、新しい部位としてより低い部位での注射が推奨され始めましたが、その根拠となる既存の研究では、研究対象者となった人数が少なく、客観性に乏しい検査手法を用いていることもあり、浸透には至っていません。そこで血管内への薬液流入を防ぎ、より安全な注射を行うための至適部位を客観的に検討する目的で、既存の MRI の画像データを用いて、後上腕回旋動静脈の走行を定量的に評価いたします。

5 協力をお願いする内容

臨床上の必要に基づいて撮影された既存の肩関節 MRI 画像データを別研究で使用し、二次解析を行わせていただくことにご協力をお願い致します。

6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2027 年 3 月 31 日

7 外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

慶應義塾大学医学部 放射線診断科学教室 山田 祥岳
連絡先電話番号 03-5363-3837

以上